

東北海区沿岸水温予報(2007年)

海域	経過 (12~3月)	現況(4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	定線観測結果(太平洋) 3月 津軽暖流域の各層水温は、0、50、100m層ともに 平年より高め、水塊深度は平年よりかなり深い、津 軽暖流の東方への張り出し位置は平年並。 定地水温 12月:平年並~やや高い 1月:平年並~やや高い 2月:高い~極めて高い 3月:やや高い~高い	定地水温 4月上旬:やや高い~高い	津軽暖流域の水温はやや高 いから高めで推移する。また、 津軽暖流の東方への張り出し は平年並からやや東偏する。	4月の日本海の定線観測結果で は、対馬暖流の流勢は平年並であ る。 親潮系冷水の勢力にやや弱まる 兆しがみられる。 定地水温は若干回復傾向にある が、依然高めの傾向にある。 よって、4月以降の津軽暖流の勢 力は強まるものと思われる。	2月から3月上旬 にかけて本県沿 岸で高水温の状 態が続いた。(特 に太平洋、日本 海)
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	12月 表面:全域で平年並~やや低め 100m深:全域で平年並~極めて低め 1月 表面:県北部沖合50海里から県中部沖合20~50海里に かけてやや高めのほかは概ね平年並 100m深:県北部沖合40~50海里と県中部沖合40~50海 里でやや高め、県南部沖合40~50海里でやや低めのほ かは概ね平年並 2月 表面:全域で概ね平年並~やや高め 100m深:全域で概ね平年並~高め 3月 表面:県北部0~20海里から県南部0~50海里にかけ ては平年並~極めて高め、県中部30~40海里でやや低め のほかは概ね平年並 100m深:県北部0~10海里から県南部0~50海里にかけ てはやや高め~高め、県中・北部50海里及び県中部30 ~40海里でやや低めのほかは概ね平年並	表面:県北部50海里で平年並、そ れ以外の全域において平年並~ 高め 100m深:県北部5~40海里から県 南部15海里にかけては平年並~ 高め、県北部50海里でやや低め のほかは概ね平年並	県北部 県南部で平年並~や や高め、県中部で平年並に推 移する。	県北部が津軽暖流に覆われてお り、津軽暖流の張り出しは期間中 平年並~やや強勢に推移する。 100m水温予測によると県南部 県 北部でやや高め、県中部で平年 並となり、正偏差の傾向がみられ る。	1月以降、沿岸部 に津軽暖流水が 分布し、昨年1月 ~3月に観測され た親潮系冷水の 接岸傾向は見られ なかった。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	1月には、表面水温は概ね10~13台で、平年並ま たは1~4 高めであった。100m 深水温は、巨理沖合 (38°N)ラインでは8~11 台で概ね平年並であった。雄 勝沖合(38°30'N)ラインでは9~13 台で平年並または 平年より1~3 高めであった。 2月には、表面水温は、8~14 台で平年並または平 年より1~4 高め、特に巨理沖合ラインで高めであっ た。100m深水温は、気仙沼沖合(39°N)ラインでは7~9 台で平年並であった。雄勝沖合ラインでは、9~10 台 で、平年より1~2 高めであった。巨理沖合ラインでは 10~13 台で平年より1~4 高めであった。 3月には表面水温は、142°30'Eより岸側の海域では 3~14 台で、概ね平年並または1~4 低めであった。142° 30'E以東の海域では13~15 台で、平年より5 ~7 高めであった。100m 深水温については、雄勝沖 合ラインでは、3~9 台で平年より概ね1~3 低めであ った。巨理沖合ラインの142°30'Eより岸側の海域では 3~9 台で、平年より概ね1~4 低めであった。142° 30'E以東の海域では14 台で、平年より2~4 高め であった。	4月には、表面水温は142° 30'E以西の海域では、6~9 台で概ね平年並であった。142° 30'Eより沖側の海域では8~ 12 台で、平年より概ね1~4 高めであった。100m 深水温につ いては、5~8 台で概ね平年並 であった。 また雄勝沖合ラインでは、142° 10'Eから142°30'Eの300m 深付近に、3 以下の冷水の分布 がみられ、巨理沖合ラインでも、 400m深付近に約3 の冷水の分 布が認められた	142°E以東の雄勝沖合(38° 30'N)ラインから巨理沖合(38° N)ラインにかけての海域では、 5月に平年より低めで推移す る。 雄勝沖合ラインの142°30'E より沖側の海域では、6月にも 引き続き平年より低めで推移す る。 このほかについては、5月か ら6月にかけて平年並で推移 する。	「沿岸定線データを用いた宮城県 沿岸海域の海況予測モデル」によ って海況予測を実施した。(2007 年4月の類似年は1991年4月と 1997年4月であった)	イサダ漁は、2月 に水温が高め に経過したこと で先行きが懸念 されていたが、 3~4月に親潮 が沿岸域を南下 した影響もあつ て、今期の水揚 げはほぼ順調 に推移し、4月 12日に設定漁 獲枠に達して終 漁となった。(価 格的には昨期よ り高め)
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	12月にみられた黒潮系暖水の波及は1月にはやや沖合 に後退したものの、2月以降本県南部沖合からの波及 が強まり、本県中南部海域では平年より極めて高めを記 録する定点が多くみられるようになった。3月に親潮系冷 水の波及が本県北部海域の一部でみられたものの、期 間を通して親潮系冷水の本県海域の波及はごく弱いもの であった。	塩屋崎沖80~90海里を中心に本 県南方から黒潮系暖水が広い範 囲に波及、接岸している。鶴ノ尾 崎沖70~80海里付近には北から の親潮由来とみられる比較的低温 分かつ低温な水塊の波及がみら れた。水温は本県中南部海域で は平年より高め~極めて高めで、 北部海域では平年よりやや高めで あった。	期間前半は現状の沖合からの 黒潮系暖水の波及傾向が継続 するが、その勢力は後半に向 かって現状より衰退してゆき、 これに伴い期間後半には親潮 系冷水の波及傾向がみられ る。水温は平年よりやや高めか ら期間後半に向かい平年並と なってゆく。	統計的手法によると本県周辺海域 への黒潮系暖水の波及は期間中 継続するが弱まってゆくと予測さ れた。また、沿岸の水温はやや高 めから平年並へと推移するとみら れた。	3月に黒潮系暖水 の本県中南部海 域への非常に強 い波及がみられ、 距岸30海里以内 の水温平年偏差 はここ10年で2番 目に高い値を記 録した。

<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿 岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>12月は黒潮系暖水が沿岸域を広く覆った。表面水温は16～22 で、常磐南部で「やや低い」～「極めて高い」となった。また100m深水温は14～20 で、「平年並」～「極めて高い」となった。</p> <p>1月はごく沿岸域に南下流が卓越し、下旬には断続的に暖水舌が形成された。また水深150m程度まで鉛直混合した。表面水温は11～14 で北部海域で「平年並」～「やや低い」、南部海域で「平年並」～「極めて低い」となった。また100m深水温は「平年並」～「低い」となった。</p> <p>2月はごく沿岸域に南下流が卓越し、上旬から中旬にかけて断続的に暖水舌が形成された。表面水温は11～15 で北部海域で「平年並」～「極めて高い」、南部海域で「極めて低い」～「高い」となった。また100m深水温は11～16 で北部海域で「平年並」～「高い」、南部海域で「極めて低い」～「高い」となった。</p> <p>3月は黒潮系暖水が沿岸域を広く覆った。表面水温は14～16 で北部海域では「極めて高い」、南部海域では「やや低い」～「高い」となった。また100m深水温は11～15 で「平年並」～「極めて高い」となった。</p> <p>水温は海洋観測結果による。</p>	<p>親潮や連なる冷水の南下は確認されていない。一方で、黒潮は北緯35°付近を東に流去しているが、初旬から中旬にかけて本県沖の東経142°以東を黒潮系水が急激に北上した。</p> <p>表面水温は13～15 で北部海域で「平年並」～「やや高い」、南部海域で「低い」～「やや高い」となった。また100m深水温は11～15 で北部海域で「やや高い」～「非常に高い」、南部海域で「低い」～「高い」となった。</p> <p>水温は海洋観測結果による。</p>	<p>親潮の急激な差込みの可能性は低い。また、黒潮系水の波及が今後も続く予想されたと推測される。ただし、ごく瀬寄りの海域では常磐北部海域から親潮系冷水が一時的に差し込むと推測される。</p>	<p>4月中旬現在、親潮第1分枝の先端位置は後退し、平年に比べてかなり北方に位置している。また、親潮の勢力は昨年から今年を通して弱勢である。</p> <p>このことから、今後も親潮の本県沿岸域への南下の可能性は低いと推測される。</p> <p>黒潮流路は南偏傾向を示しているものの、12月中旬、2月下旬、4月上旬と断続的に強い暖水を常磐海域に波及させている。このことから今後も暖水の波及が継続と推測される。</p>	<p>特に無し。</p>
--	--	---	---	---	--------------

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4～	+4.0～	+6.0～	+2.4～	+4.0～	+4.0～
高い(7.5%)	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	4.0～+5.9	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	+2.5～+3.9
やや高い(20%)	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	1.5～+3.9	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	+1.0～+2.4
平年並(40%)	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	1.4～-1.4	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	+0.9～-0.9
やや低い(20%)	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	1.5～-3.9	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	-1.0～-2.4
低い(7.5%)	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	4.0～-5.9	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	-2.5～-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4～	-4.0～	-6.0～	-2.4～	-4.0～	-4.0～